

「蓬原小学校の蓬原中野棒踊り伝承の取組」

1 学校名

志布志市立蓬原小学校

2 学年・人数

小学4年生 7人

小学5年生 10人

小学6年生 13人 計 30人

※ 蓬原中野自治会 十数名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

9月3日(水), 17日(水), 24日(水) 5校時

蓬原小学校体育館・校庭

※ 保存会に指導を依頼し、講師を派遣していただき、校庭で本格的な練習を3日間実施した。

(2) 発表の場所・日時

平成26年9月28日(日)

蓬原小学校・蓬原校区公民館合同秋季運動会

※ 演技予定時刻：14：20頃

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

蓬原中野棒踊り(ふっはらなかのぼうおどり)

(2) 由来

元々は、垂水市で島津義弘公の戦いの勝利を祝って始まった。2列縦隊の棒踊りは、150年前頃から伝わっているが、3列縦隊の棒踊りは、50年前ぐらいから踊られている。現在は、蓬原中野自治会の棒踊り保存会により、次世代へ継承されている。

(3) 構成等

本来は、短尺棒と長尺棒の2部構成。

運動会では、短尺棒の踊りを、保存会の生の歌で踊る。また、子ども達が踊った後に、蓬原中野自治会の保存会が踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

10年前から、小学校・校区公民館合同運動会で、小学4～6年生による棒踊りが披露されるようになった。毎年、運動会前に蓬原中野自治会の棒踊り保存会が子ども達に指導している。

今年も9月3日、17日、24日の3回、蓬原中野棒踊り保存会による指導を受けた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

運動会では、子どもたちが扱いやすい短尺棒による踊りを発表する。発表の際は、児童全員が棒踊りの衣装に着替えて演技を行う。但し、保健・安全面から運動靴を履く。運動会当日の着替えは、保護者が協力する。

基本的に2人組で演技するため、人数調整で5年担任が参加した。また、当日は、怪我のために出演できなくなった児童が太鼓をたたき、その代わりに、体育主任が踊りに参加した。

7 取組の様子



地域の指導者による練習



運動会での発表



保存会（地域住民）の演技

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

（1）参加児童

昨年までは、棒踊りを見るだけで、今年は、自分たちが踊れるのが楽しみだったが、うまく踊れるか心配だった。足の動きと三人組は難しかったが、上級生や保存会の上野先生が、お手本を見せながら教えてくれたので、できるようになった。運動会の本番は、少し緊張したけど、お母さん達が「上手だったよ」と言ってくれてるので、嬉しかった。来年は、自分たちが、優しく下級生に教えたい。（4年女子）

棒踊りが大好きなので、練習も楽しかった。上野先生は、「声が出ている。」「元気がある。」と誉めてくれるので、やる気も出た。また、一つ一つの動きを丁寧にやりながら教えてくださるので、難しい足の動きもうまくできるようになった。本番の運動会では、緊張せずにできた。運動会を見に来た家族がほめてくれてうれしかった。来年はもっと練習し、上手に踊れようがんばりたい。（5年男子）

3年目だったので、踊り方はだいたい覚えていた。練習では、4年生に教えたけど、4年生は覚えるのが早かった。3人組を何回も練習して、本番の運動会でミスなくやれてとてもうれしかった。（6年男子）

（2）保護者

毎年、運動会で披露される棒踊りを、家族も地域の人たちもとても楽しみにしている。厳しい残暑の中での練習なので、大変だと思うが、伝統ある棒踊りを受け継いでいくのは、大切なことだと思うので、これからも続けてほしい。

（3）保存会

今年は、昨年より2週間ぐらい早く教えたので、踊りの覚え方もよかった。昨年より声もよく出ていた。相手に合わせながら棒を打つのは大

人でも難しいのに、子どもたちはよく覚えてできるようになるのに驚く。何事も一生懸命覚えようという気持ちで練習しているので教え甲斐もあり、今後もお手伝いをしていきたい。(指導者の上野さん)

(4) 教員

自分自身が棒踊りを踊るのは初めての経験だし、指導したこともなくて不安だったが、これまで同様、保存会の講師の先生が指導して下さるということで、講師の先生と打合せをして練習日を早めに設定した。また、上級生が下級生に教えるのも、伝統を受け継ぐ意味で非常に良い学習の場になっていると思った。本番では、子どもたちといっしょに踊って、よい思い出をつくることができた。(5年担任)